

1年生（73回生） その7 12/5（月）

12月5日（月）6・7限、総合的な探究の時間の一環で「進路講演会」を行いました。社会の現状を知り、自らの職業観を育てていくという目的で、実施されるこのプログラム。様々な分野で活躍されている9名の方に、ご来校いただきました。生徒は1つの講座を選び、参加。いきいきと話される講師の先生方に圧倒されつつも、高校生の今を生きるヒントをいくつもいただき、2時間があったという間に過ぎました。



<受講者の声> ()は講座でお話くださった講師の先生のご職業または所属

- ・未遂とは何か→犯罪に着手した→犯罪に着手とは何か、という法解釈のステップがとても面白く、自分の好きな分野かもしれないという新たな発見があった。(弁護士)
- ・「何をやってもうまくいかないときは基本に戻る」「失敗を伴わない成功ほど意味がないものはない」仕事を選ぶときは楽しさが大事。(航空宇宙設計開発技術者)
- ・各企業に対して公正な立場で、監査業務・コンサルティング業務・税務業務などを行う。自分は、分析をしたり、1つのテーマについて人と話したり、1人で作業したりすることが好きなので向いているかもしれない。(公認会計士)
- ・働くということはお金を稼ぐためだけのものと思っていたけれど、自己実現の手段であり、社会における価値を生み出すことだということが印象に残った。(名古屋鉄道株式会社人事部)
- ・クルマの部品をつくっている会社だけど、関わりが遠そうな美容の話も上がっていて、アイデア次第でどんな業界も他の業界につなげることができるのだと思った。((株)アイシン人事部)
- ・社会に出るうえで大切なことは、基礎ができるという知力、途中で投げ出すことなく継続をする体力が備わっていること。自分が分からないことを課題として捉え、聞いたり調べたりして分かるようにしていくこと。(豊田工業大学入試広報課)
- ・技術の高度化によって専門化がすすみ、1人の命を救うにはチーム医療が不可欠。そして「医療系の仕事×〇〇=∞」という言葉聞いて、幅広く学び、経験することが大切だと思った。(看護師)
- ・研究者といっても「企業」か「大学・研究所」かで異なり、研究者になるまでの道のりも多様であることが分かった。厳しさと楽しさがあり、英語力・コミュニケーション能力が大切であることが分かった。脳の研究の内容も面白かった。(生理学研究所研究者)
- ・公務員は107にも及ぶ部署ごとに仕事は異なり、様々な人たちとのコミュニケーションが必要である。数年に1度、異動があるというのに最も驚いた。講師の先生は知識が増えることの楽しさを伝えてくださった。(岡崎市役所総務部)